



# 『BioBran/MGN-3 (米ぬかアラビノキシラン誘導体) 基礎と代替・補完療法への応用』

2006年5月

◎ 内容一覧 ◎

目次	
刊行の辞	
I-1	バイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)の概要
I-2	バイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)の製法
I-3	バイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)の免疫調節に関わる成分の化学構造
I-4	バイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)の安全性
II-総説-1	免疫調節とバイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)
II-総説-2	生体防御とバイオブラン
II-1-1	バイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)によるヒトナチュラルキラー細胞活性の増強
II-1-2	バイオブラン(米ぬか由來修飾アラビノキシラン)によるマクロファージ食作用の増強
II-1-3	免疫刺激と癌予防
II-1-4	バイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)によるヒト末梢血リンパ球からの腫瘍壊死因子- $\alpha$ およびインターフェロン- $\gamma$ の産生と、 <i>in vitro</i> におけるインターロイキン-2との相乗作用
II-1-5	バイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)のヒト末梢血リンパ球ナチュラルキラー細胞活性に及ぼす影響
II-1-6	バイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)による加齢マウスのナチュラルキラー細胞活性増強
II-2-1	バイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)の <i>in vitro</i> 抗HIV活性
II-3-1	バイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)に含まれる癌細胞増殖抑制成分に関する研究
II-4-1	バイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)の活性酵素消去能の検討
II-4-2	バイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)の生体防御賦活作用に関する基礎的研究
II-4-3	バイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)はシスプラチンの主要・急性副作用である体重減少を示したマウスにとって有用である
II-4-4	ラットにおけるシスプラチンおよびドキシソルピシン誘発毒性に対するバイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)の効果
II-4-5	バイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)がラットの実験的肝障害に及ぼす影響
II-4-6	バイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)の感染防御活性に関する報告
II-4-7	シスプラチンの毒性に対するバイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)の防御作用
II-5-1	喘息モデルマウスにおけるバイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)による喘息予防と症状軽減効果の評価
II-5-2	NCマウスに対するバイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)の抗アトピー性皮膚炎効果
II-6-1	バイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)はヒトT細胞白血病細胞の細胞死受容体(CD95)誘導アポトーシスに対する感受性を高める
II-6-2	バイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)はヒト乳癌細胞株における酵母誘導アポトーシスを <i>in vitro</i> で増強させる
II-7-1	ストレプトゾシン誘発糖尿病ラットの血清脂質および味覚感受性に対するバイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)の効果
II-7-2	バイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)は新生児期にストレプトゾシンを投与したNIDDM成熟ラットの耐糖能を改善させる
III-総説	バイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)の疾病予防と治療の補助への適用
III-1-1	進行癌に対するバイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)の延命効果およびQOL改善効果
III-1-2	バイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)によるがん患者のNK免疫回復(患者32人の4年間追跡試験)
III-1-3	標準治療終了後の癌患者に対する機能性食品の長期摂取の影響
III-1-4	進行性末期膵臓癌の保存的加療における機能性食品の有効例
III-1-5	膵臓癌を来たした再発性大腸癌(Sister Mary Joseph's Nodule, SMJN)に免疫療法を施行し長期に生存している1例
III-1-6	癌の免疫治療におけるバイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)の臨床的意義
III-2-1	HRB(米ぬかアラビノキシラン誘導体)の免疫賦活作用による高齢者に対するかぜ症候群予防効果
III-2-2	慢性関節リウマチに対するバイオブラン(米ぬかアラビノキシラン誘導体)の投与経験
あとがき	